

会 議 録 (会議経過含む)

会 議 の 名 称	平成23年度第1回由利地域協議会
開 催 日 時	平成23年5月27日(金) 午後3時～
開 催 場 所	西滝沢水辺プラザ 地域交流施設 「多目的ホール」
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
会 議 次 第 1. 開 会 午後3時～ (進行：鈴木振興課長) 由利総合支所長より23年度から新たに委員となられた「佐藤俊弘委員」に委嘱状の交付。 2. 会長あいさつ 春作業で大変お忙しい時期でございました。おおかた田植えも終わったようでございますが、このようなお忙しい中ご出席頂きまして大変ありがとうございます。ただいま佐藤委員への委嘱状の交付を行いました。どうかこの地域の由利地域協議会の一員として精一杯がんばっていただくことをお願い申し上げます。 毎日のように報道関係では、朝から晩まで3月11日の大震災のニュースでいっぱいでございますが、本当に亡くなられた方々へのご冥福をお祈りするとともに被災された皆様にお見舞いを申し上げます。こういう大災害のために国の予算要求も非常に厳しい折でありますから、なおさら地方への影響がどのように表れるのか心配であります。このような中で23年度の本市の予算につきましては、442億7千万円ですか、議会の承認を得て既に実施に入っているわけですが、こういう予算内を見ても市税が100%ほとんど入るのか、国からの交付金が予定通り入るのか心配もないわけではございません。しかし長谷部市長の市政方針演説の中を見ますと、まず第一に、定住自立圏構想の下に地域医療の充実、あるいは農業を守るためにはTPPへの閣議反対を貫くという発表もございました。そういうような中で特に市長がいつも話をされることですが、8地域の一体感を高めるためにどうするか、こういうような、それは8地域を平等にさまざまなことができるように地域協議会というものがありますから、そのなかでさまざまな協議をしながらその一体感を高めていかなければならないと常にそういうことを言っております。全くそのとおりだと思います。 この大災害の関係で本当に潤沢に予算通りあるいは当初計画通り事業を実施できるのかどうか心配しますが、今日の協議の中にもあるようでございますが、22年度からの繰越事業もみられました。これを見ますと若干の心配もないわけではありません。しかし、われわれは由利地域のことに限って、それに絞って、この由利地域全体のことを考えながらの協議会であるべきだと思います。その様に皆さんも感じておられることと思いますので、そのことを常に念頭に置きながらこの協議会を進めてまいりたいと思いますし、皆さんの今まで以上のご協力をお願いして挨拶に代えたいと思います。 3. 会長報告 資料-1により、各種会議への出席状況について説明。 (会長) 4. 行政報告 行政報告に入る前に4月1日付の人事異動による出席職員の紹介。(由利総合支所 三浦支所長) 資料-2により、5月26日までの由利地域の行事等を報告。	

5. 協議 (進行：会長)

協議に入ります前に、今まで議事録署名委員を指名しておりましたが、他地域では指名しておらないため、事務を簡素化する意味でも今回から指名いたしません。

資料－３により、平成２３年度由利総合支所主要事業を説明。(由利総合支所内 各課長)

(A委員)

５番の「総合支所空調設置」について、これは前の議場への空調設置ということですが、殆ど使用しない場所への設置よりも使用頻度が多い斎場へ設置したほうがいいのではないかと？

(鈴木振興課長)

前の議場と言いましたのは、東滝沢村時代のことで現在産業課と建設課が入っている木造部分のことであり、常時使っている事務室への設置ですのでご理解をお願いします。

(A委員)

４番のさくら剪定事業についてですが、これにはアメシロ防除は入っていないのですか？

(鈴木振興課長)

入っておりません。

(A委員)

そうすれば、アメシロ防除はだれがいつやっていますか？

(鈴木振興課長)

公園等を管理する所管課でやっております。

(A委員)

市民福祉課の１３番の敬老会について、今年も検討したけれども予算がなくてということですが、経費をかけなくてもイスと机をトラックで集めたり、やり方次第で可能ではないか？検討しているとかではなく、やりますというような確定的な返事をいただきたい。

(木内市民福祉課長)

敬老会につきましては、そのように集めてやれば出来るわけですが、出来るだけイスと机は同じものを使ってやりたいと思っております。過去にはその様に会場から集めて段違いのものを使用したこともありましたが、現在机についてはレンタルで同じものを使用しております。業者のほうとも再三に渡りやり取りしておりますが、今回は予算的なことがございました。来年度は、それが原因で参加できないという方々からも参加していただけるように、実現にむけて強い気持ちで向かってまいりたいと思います。

(A委員)

１８番について、これは今年度だけの予算ですか？前はモニタリングの情報を出していたのに、いつからどうして出さないのか？例えば前年度のデータと比較したものを出すとか？

(木内市民福祉課長)

これは単年度の事業金額でございます。前は支所だよりに出していました。詳細を前担当課長へお願いしてもよろしいでしょうか？

(鈴木振興課長)

モニタリングの情報は確かに支所だよりに出しておりました。どうして出さなくなったのか分かりませんが、今後出すようにいたします。

(A委員)

建設課の３２番について、水の流れの方向はどちらでしょうか？

(庄司建設課長)

県の事業との関連で寺田から沢口のほうへ行きます。砂防堰堤の県の事業が入ったことにより水量が急激に出てくることになるため、それを解消しないと寺田踏切の横断暗渠が機能しなくなり、加藤さんの家に毎年水が上がることとなりますので、それを関連で直していきたいということです。それ

から順番に沢口のほうへ行きます。地蔵様から水路について130mぐらい行きます。地蔵様から加藤さんのところに横断暗渠があるのですが、そこへ流します。

(A委員)

水は沢口のほうへ流れて行くのですか？寺田沢口線の側溝の傾斜はどっちに向かっているのか？

(庄司建設課長)

今までの傾斜は、寺田公民館から地蔵様のほうに流れていました。それを逆にして、地蔵様から公民館側へ流します。それで道路横断して、加藤さんの裏の鉄道横断へ流します。

(A委員)

そうすれば寺田から沢口には来ないということですね。

(庄司建設課長)

行きません。

(F委員)

限られた時間の中でのいろんな質疑応答だと思いますので特定の方だけの質問ではなく、全員のいろいろな意見を聞くスタイルを心がけていただければ大変ありがたいと思います。

(B委員)

ここには載っていませんけども、教育学習課関係というか市全体に係ることになるかと思いますが、私たちに出来ることは何なのかなと思いつつながら、批判とかそういうことではありませんが、どちらかというと行政は守りの部分がどうしても強くならざるを得ないというのはあるだろうと思えます。今日也由利小学校に行きましたが、子どもたちがやる気満々ですごく輝いているんですね。市長さんとかリーダーシップを取られている方々が、やはりこういう最高に困難な時代を生き抜くのであればこそ、子どもたちは未来からの宝物だという根本的なことを忘れずに、私たちもいろんな面で関わっていかねばならないと思っております。先般、由利本荘市と国際教養大学の交流提携がありましたが、限りある予算の中で、子どもたちの未来、常に将来を見据えた行政運営であって欲しいというように思っております。決められたものの中で、新しいものに取り組むというのはなかなか困難な状況であると思えます。新しい事業が困難といわれているということは分かりますけども、教育学習課だけではなく市全体で、前向きな夢を持てる活動展開をお願いします。

(伊藤教育学習課長)

市教育委員会の学校訪問がありまして、全教育委員が小・中学校をまわらせてもらいました。教育委員の話では、由利小学校の子どもたちは明るく燃えているという感じを受けたという発表をしてくれました。返事も良くて本当に子どもたちは、明るく伸び伸びとがんばっているなという好評をいただいていますので、いつも気をつけながら対応しております。本当にありがとうございます。

(C委員)

3つほどお話ししたいと思います。まずは、23年度の主要事業予算を取っていただいて職員のみなさんに本当に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。旧町時代変わらない事業が実施されるようで良かったなと思っております。

一つは振興課の7番、地域振興事業で緊急修繕用予算と載っていますが、緊急なので何か急ぎのときに使うという感じだと思いますが、二ヶ月ほど経った現時点での事業実施予定がありましたら教えていただきたい。

それからトイレの洋式化ということで、各施設は洋式化の予算確保されているようですが、支所自体のトイレがまだ直っていないので是非改修をお願いします。来客用でもありますので今年出来なければ来年度にでも実施できるように、まず支所を直してもらうようにお願いします。

もう一つは建設課の38番、住宅解体工事は長屋風部分の解体だと思いますが、これに代わる解体後の計画をお伺いしたい。公営住宅で長屋風というのは由利ぐらいのもので、他の地域では一戸建てやマンション風という感じになっているので、需要があるのであれば一戸建てにしてはどうか？

(鈴木振興課長)

地域振興事業について、現時点では支所のブロック塀修繕を実施しているだけとなっております。支所トイレの洋式化については、支所長のほうからお願いします。

(三浦支所長)

トイレの洋式化について、支所は各施設が終わってから一番最後にと考えております。比較的住民の使用頻度が多いところから順次実施して行きたいと思います。

(庄司建設課長)

公営住宅についてですが、今年解体をして来年度から平屋建てのほうを全部計画的に解体しながら建てていくことになります。現在の入居者は老人世帯が多いため、建て直すのは平屋の一戸建てを考慮しておりましたが、現在の戸数39戸を建てられるかどうか検討がつかない状況です。今年度実施設計を組む予定ですが、最初検討した旧前郷小学校のグラウンドに建てる案は、埋蔵文化財の調査費用が2億円掛かるとの話があったため断念したところです。今のところへ再度建て直すことになると思いますが、用地が少ないため全部建てるとすれば1棟2戸という建て方にならざるを得ないのかなと思っています。26年度まで総合発展計画で計画しておりますので、26年度まで入居者の状況を見ながら考えていきたいと思っています。

(F委員)

産業課の22番、ふれあい農場の運営費ですが、前年度から見ますと約1千60万円ほど増えているようですが、市長も由利牛の振興に力を入れているようですし、具体的にどう展開しようとなされているのか？

(熊谷産業課長)

ふれあい農場の件についてですが、公社化の件も含めたお話でしょうか？

(F委員)

事業概要についてです。増額されているのは、何に重点を置いた計画なのか具体的に教えてください。

(木内市民福祉課長)

以前産業課で担当しておりましたので私のほうから説明させていただきます。

毎年このぐらいの予算要求をしていたわけですが、公共の牧場に対しては予算がなかなか付きませんでした。毎年、草地からの生産物を販売している中で、その草地への肥料購入費も少なかったため散布回数を減らしたり、他牧場から譲ってもらったりしながら対応していました。年間で50頭ぐらい肥育牛を出荷するとすれば、その2倍程の頭数が常時必要になるわけですが、飼料費も少なかったため一時は40頭ぐらいしか出荷できないこともありました。そういうことをなくそうということで今年度は不足だった予算が確保されています。それと、ここ3年ほど春から冬の期間は宿直を置かないという体制をとっておりましたが、誰もいないときに事故等があると大変だということを訴え続けた結果、宿直分の人件費も確保することが出来たため、予算の増額というかたちになりました。

市長の秋田由利牛の振興に力を入れるという思いが反映されているものと思います。

(F委員)

前の質問と共通するかもしれませんが、別の観点から質問させていただきます。

振興課の5番に関係するのですが、これは今の2階事務室に空調を設置することなのですが、住民からしてみれば、一階に全ての事務室がまとまったほうが便利でいいと思いますが、なぜ一階にまとめることができないのか理由をお願いします。

もう一点ですが、地域振興事業について22年度から増額されたことにより、緊急を要する地域の修繕がスムーズに支障なく執行されているのかどうか？

(鈴木振興課長)

最初の質問についてですが、一階の配置換えのときに二階の産業課と建設課を一階にまとめることが出来ないか支所長とも現場で議論を重ねましたが、現状では二階の二つの課を一階フロアにまとめ

るのは困難であるとの判断になりました。今後、住民サービス向上のためにも、職員数が減ったり、機構改革があつたりして状況が変わることにより、まとめることが可能になったときには実施したいと思います。

(F委員)

機械のスペースで難しいのか、事務する上での机・書類等の配置で難しいということなのか？

(鈴木振興課長)

机・書類等の配置が現在の人数では今のところ難しいということでございます。

二点目の地域振興事業の関係でございますが、ここ一・二年交付金関係の事業等がありまして解体や修繕がかなり進んでおり、建物の修繕や道路関係についても交付金事業で実施されております。集落要望などの小規模の修繕は、その都度実施してまいりますが大規模な修繕がなければどうにかなるのかなと思います。

(三浦支所長)

一点目の事務室の件ですけれども、今の人数での机・書類等を考えますと現時点では難しいということでございます。今年、庁舎の耐震調査が予定されておりますので、その結果二階事務室の木造部分が耐えられなくなった場合には、現時点での一階への集約は難しいため現在会議室として使用している旧議場を事務室として使用することも考えております。今後、支所の規模がどうなるかわかりませんが、一階に事務室を集約できる状況になりましたら実施してまいりたいと思います。

二点目の地域振興事業については、補正予算に間に合わなくて緊急を要するものということになっており、総合支所の裁量ですぐに対応できるものとなっておりますので、補正予算に間に合うものは別途に要求をしております。9月末まで集落要望を取りまとめてすぐに実施できるものは、この中で対応していきたいと思います。

(D委員)

一般会計の中で一番予算額が多い17番のゆり保育園運営事業の保育事業に要する経費ですが、具体的にどのような内容でしょうか？また、教育学習課の51番の郷土資料館運営費について、具体的な内容をお願いします。

(木内市民福祉課長)

一点目の保育事業に要する経費ですが、人件費が大部分を占めており、園児140名に保育士26名で基準の中で運営しております。賃金系統が約5千万円、給食の賄い材料が約9百50万円、その他に教材費などが含まれており、約7千万円となっております。

(伊藤教育学習課長)

郷土資料館運営費の内訳ですが、作業員賃金が8万7千円、トイレトペーパー等の消耗品等の需用費18万4千円、保険料4万8千円、消防設備点検委託料2万9千円となっております。

(D委員)

一昨年視察で郷土資料館に行きました時に、2階の外から見える紙が張ってあるところが破れたりして見栄えが悪く、一緒に視察した方々もどうして直さないのかと話しておりました。それに昨年知人を案内したときに、一昨年の状態がまだ改善されていなかったため、その補修が予算に入っていないのは甚だ困ったものだと思います。

それから保育園運営事業の関係で、由利地域の子どもがゆり保育園に入れなくて、他の保育園に通っているという話を聞いたのですが、受け入れ態勢はどうなっているのでしょうか？

(伊藤教育学習課長)

先ほど説明したときに需要費と大枠で説明しましたが、その中に修繕費も入っておりますので現場確認して出来るようであれば実施したいと思います。

(木内市民福祉課長)

受け入れ態勢のことで、先ほどの話が何歳児のことなのか分かりませんが、年齢ごとに入所基準があるため全体で定員内であっても、年齢によっては入ることが出来ない状況があつたりしますので、

その様な感じではないかと思います。

(会長)

予定していた時間は過ぎておりますが、他に質問ありませんか？

(C委員)

私が現職だった時に、公立保育園の指定管理者制度導入の話がありましたが現在の状況はどうですか？また、本荘地域内の公共温泉施設の指定管理については、どうなっていますか？

(木内市民福祉課長)

保育園につきましては、行革のほうで先日ワーキンググループの会議があり方向性としては指定管理者制度は無くなったような感じです。このまま公立で行くのか民間委託するのかこれから議論することになるかと思います。指定管理者制度については、一度決まりかけてから全ての法人が取りやめたことから今後は難しいというのが、担当者のワーキンググループでの話しとなっております。ただ、専門部会や行革本部で再度話が出てくることも考えられますが、現時点での状況はこのような感じです。

(三浦支所長)

第二次行政改革で、それぞれの地域にある施設、例えば南由利原旅行村、ふれあい農場等あらゆる施設を検討して、平成22～26年度に指定管理に向けた目標がありまして、南由利原旅行村は26年度、ふれあい農場についても26年度予定でしたが前倒して公社化の話があります。保育園と特養については、直営ということとその他の方向性を行革の中の各部会で話し合っている状況であります。その中のワーキンググループで方向性及び可能性の案を出して市長に判断してもらうということになっております。保育園については、入所児童の多いところと少ないところがあるので、民間移行の前に、統合してから民間移行するなどの可能性も考えている状況であります。

本荘地域の公共温泉施設も指定管理の方向で進んでおります。ばいんすば新山は、石脇財産区で受け入れられないかということで検討しており、鶴舞温泉も近い将来実施される予定であります。

(E委員)

産業課の24番についてですが、観光施設であります平和の塔は、皆さんご承知のとおりできてから20年経っております。総工費3千6百万円をかけた全県的にはもちろん全国的にも類を見ない大変有名な平和の塔が、皆さんから遠ざかっているのではないかとそんな気がしてなりません。南由利原のシンボルとして、大変価値のある観光名所ではないかと思っており、看板等を設置してもっとPRしていただきたいと思います。

(熊谷産業課長)

平和の塔につきましては、市の行政財産と位置づけられておりまして、今後、南由利原の観光施設の一つとして看板整備についても積極的に取り組んでまいりたいと思います。

(A委員)

振興課の3番、旧鮎川小学校の耐震調査はいつごろやるのか？

(鈴木振興課長)

旧鮎川小学校の耐震調査についてですが、今年3百万円の予算の中で耐震調査を予定しておりますが、国の登録有形文化財の関係がありまして、現在文化課を通して文化庁に照会中であります。

(会長)

予定した時間を大幅に過ぎておりますし、この後の会の予定もありますので、「平成22年度地域づくり推進事業の実績について」は、事業説明を割愛して皆さんにお目通しいただくことにして、本日の協議を終了したいと思います。

(D委員)

地域づくり推進事業の実績報告の中で質問しようと思っておりまして、今お聞きしますが、由利中学校同窓会東京支部総会参加事業が昨年行われましたが、今年は、予算の中に入っていないようですが廃止となったのでしょうか？

(三浦支所長)

この事業については、それぞれの地域協議会で22年度地域づくり推進事業で実施されておりましたが、今年度は、地域づくり推進事業とは別に予算措置されております。

(会長)

それでは、協議はこれで終了します。その他で何かございますか？

6. その他

(A委員)

地震等で停電になったときに、下水道は何日間ぐらい使用できるのか？

(庄司建設課長)

下水道が使えなくなると大変なことになるので、この前の地震で停電になったときは、中継ポンプで汲み取りして対応しましたので、使用禁止にはしませんでした。今後は、自家発電についても考えていかなければと思っています。

(A委員)

停電のときに防災無線のバックアップはどうなっているのか？

ケーブルテレビの利用料は免除があるようだが、加入金は免除にならないのか？また、独居老人世帯というのは、65歳以上のということでしょうか？

(鈴木振興課長)

後日確認して回答いたします。

(三浦支所長)

本日は長時間にわたり慎重なご協議をいただきありがとうございました。委員の皆様にはご多忙の中とは存じますが、今後とも由利地域のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げましてお礼の挨拶とさせていただきます。

7. 閉会

終了 午後5時30分

会議の資料 別紙のとおり

◆出席者名

会 長	佐 藤 千 秋	由利総合支所長	三 浦 貞 一
副会長	徳 山 洋 一	振興課長	鈴 木 甚 悦
委 員	佐 藤 文 夫	市民福祉課長	木 内 幸 一
委 員	相 田 勝 弘	産業課長	熊 谷 善 弘
委 員	工 藤 健 一	建設課長	庄 司 昭 一
委 員	佐 藤 俊 弘	教育学習課長	伊 藤 康 勝
委 員	尾留川朋四郎	振興課主査	山 田 雄
委 員	佐 藤 イネ子	振興課主任	鈴 木 顕
委 員	橘 明 子		
委 員	佐々木 勝美		

委 員	木 内 進	
委 員	佐 藤 金 市	
委 員	木 内 芳 一	